

令和6年度 結果の分析及び今後の改善策

(中間・最終)

中学校区 校番 17 学校名 呉市立昭和北中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	基礎的・基本的な内容の習得を図り、思考力・表現力(コミュニケーション力)を養う。	対話的な授業による学習意欲の喚起 読書活動の推進 自分の志を表現できる生徒の育成 言語能力、情報活用能力、課題発見・解決能力等の育成	○授業が分かりやすいと感じている生徒の割合(アンケート調査)は90%で目標値に達している。アンケート調査が1学期実施であったため意欲的に学習に取り組んでいる姿が見られる。 ○授業中に全員が応答できたり、参加しているという気持ちをもてる生徒の割合(アンケート調査)は92%で目標値に達している。アンケート調査が、1学期実施であったため意欲的に授業に取り組んでいる姿が見られる。 ○1か月の間に本を1冊以上読んでいる生徒の割合(アンケート調査)は68%で目標値に達している。1学期は昨年度より昼休みに図書室を開館できている日が多いため図書館利用ができています。	○授業改善を継続し、学習意欲が2学期以降も続くように努める。1学期末からキュービナが活用できるようになったので学力向上に向けて活用方法を工夫していく。 ○図書委員会による学級文庫を継続するなど、図書室の活用を推進していく。
**	基本的な生活習慣を身に付け、進んで他者とかかわりながら、社会に貢献しようとする生徒を育成する。	「自らへの自信」の涵養及び道徳実践力の向上 規範意識を涵養 安心・安全な環境	○授業を通しての自己有用感の向上 自分にはよいところがあると思う生徒の割合が82%と目標数値を上回った。授業規律等に課題がある生徒が落ち着き、授業や部活動などでの個別指導や声かけができていたことが要因だと考えられる。 ○生徒指導規定を核とする組織的な指導の推進による自己指導能力の育成 時間を守る生徒が96%と目標を達成した。遅刻する生徒は多いが、昨年度の校内の見回り、声かけの成果でほとんど授業遅刻する生徒はいなくなった。生徒会による毎週水曜日の朝の挨拶運動を継続して行い、自ら挨拶をする生徒94%(達成値99%)も増えてきているが、学年が上がるにつれて、挨拶の声も小さく自らは少なくなっている。 ○災害から自分の命を守る意識の向上 広島県土木建築局の方による出前授業を行い、概ね目標値は達成した。しかし、「自分の住む地域に起こりやすい災害の理解が」87%(達成値97%)と低い。今後100%を目指し参観日など保護者の方を交えての授業なども計画していきたい。また、学年により時間が十分確保できていないなど統一した指導ができていないことがあった。	○引き続き、授業等での生徒への肯定的な声かけを増やしていく。 ○生徒会を中心としたキャンペーン活動を取り入れ、生徒同士で声かけできる環境を構築していく。 ○全学年で共通した教材や資料提供していく。 地域の方との防災訓練や講演会を実施していく。
*	活力があり、主体的に体力・運動能力の向上に取り組む生徒を育成する。	活力を喚起する体験活動の充実 家庭・地域・学校生活を通しての主体的な体力づくり、運動能力の向上	○学校行事・生徒会活動の活性化 学校行事や生徒会活動等に満足している生徒の割合は91%と目標値をkarouじて上回った。クラスマッチなどの行事にも積極的に取り組み、望ましい人間関係を醸成している。特に体育大では、孤立しがちな生徒にも生徒自らが声掛けをして応援する姿が見られた。 ○体育の授業及び「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」を活用 本年度は2学期後半での実施を計画している。	○学校行事では、文化展示発表会での合唱コンクールに注力する。 ○今年度は早くから猛暑だったので、50m走(男女)、長座体前屈(男女)、持久走(男子)、シャトルラン(女子)を実施しなかったが、秋以降のコンディションがよい時に実施したい。
業務改善	持続可能な教育環境の整備	教育活動へのやりがい 長時間勤務の削減	○教職員間のコミュニケーションの充実 職員室において、教職員間の会話や笑いが増えた。内容についても「生徒の良さ変化」に関するものや先生方の生徒に対する愛情が感じられるものが多い。 ○週1回の定時退校の徹底 水曜日を定時退校日としている。定時退校の徹底はできていないが昨年度と比較し状況は改善されている。 ○部活動休養日の定着 部活休養日は定着できている。会議・校内研修・職員連絡会の精選と開催日の工夫をしている。 4月から8月に時間外勤務が月45時間を越えない教職員の人数は、40人中、4月22人、5月19人、6月18人、7月31人、8月40人で、月平均が26人であった。これは全体の65%(昨年度57.4%)にあたり目標を達成できなかったが昨年度と比較し、先生方のタイムマネジメント力が高まっていることが伺える。	○教職員間の援助希求しやすい雰囲気大切に。 ○会議や研修の開催日や内容を引き続き精査していく。 ○勤務時間後に退校しやすい雰囲気大切に。 ○入退校管理システムを活用する。